みやざきナース Today2019&看護進路説明会　実施報告

公益社団法人　宮崎県看護協会

１．　目的

保健・医療・福祉の分野でますます看護の要請が高まっており、優秀な人材の確保が重要となっている。そこで、中・高校生および保護者、進路担当の先生を対象に、看護学校に関する情報を提供し、適切な進路選択の一助となることを目的とする。

２．　日時：令和元年 5 月 11 日（土）

３．　会場：宮崎市民プラザ　オルブライトホール（宮崎市）

４．　内容：看護の講演、県内の各看護学校別の説明、学校資料展示

５．　プログラム

時　間	内　　容	
12：00～	受付	
12：50	オリエンテーション	
13：00～13：05	開会・挨拶　　宮崎県看護協会　　会　長	
13：05～14：15	**講演** 看護の心を伝え、広める ～看護のリレートーク～	発表者 保健師　安藤優子（都農町役場） 助産師　馬原敦子（宮崎県立宮崎病院） 看護師　酒元彰人（宮崎大学医学部附属病院） コーディネーター 松浦康代（公益社団法人宮崎県看護協会 宮崎県ナースセンター長）
14：30～15：55	**看護進路説明会** **看護学校別紹介** （各学校　8 分）	● フィオーレＫＯＧＡ看護専門学校 ● 小林看護医療専門学校 ● 九州保健福祉大学総合医療専門学校看護学科 宮崎医療福祉専門学校　看護学科 ＜10 分休憩＞ ● 日南看護専門学校 ● 藤元メディカルシステム付属医療専門学校 ● 国立病院機構　都城医療センター附属看護学校 ● 宮崎大学医学部看護学科 ● 宮崎県立看護大学
15：55～16：00	閉会・挨拶	
12：00～16：00	オルブライトホールのホワイエにて **＊各学校の資料配布** **＊その他の看護に関する学校の情報提供コーナー** **＊看護の活躍の場の紹介コーナーパネル展示** **＊災害支援ナースの紹介コーナー**	

6．　参加状況：参加者数 328 人　　単位：人

	生徒数	1 年生	2 年生	3 年生	保護者	教諭	一般	合計	学校数
小学校	1				1	0	0	2	1
中学校	25	2	1	22	19	0		44	15
高校	182	8	36	138	79	4		265	29
一般							17	17	
合計	208				99	4	17	328	47

7．　参加者アンケート結果

1）対象：参加した中・高校生、保護者、教諭　、一般の 328 人

2）回収状況　　回収数 203（回収率 70%）

3）集計結果

（1）回答者の内訳　　単位：人

中学生	高校生	教諭	保護者	一般
7	145	3	46	2

（2）進路希望

①現在の希望進路について　生徒のみ回答（n＝152）　　単位：人

希望進路	回答数	構成比
ぜひ看護職をめざしたいと思っている	122	80%
看護職をめざしたいが迷っている	16	11%
決まっていないが看護職に関心がある	11	7%
看護職以外の進路をめざしている	2	1%
まったく決まっていない	1	1%

②看護職をめざす理由　(①で看護職をめざすことを考えている 138 人が対象)

【複数回答】単位：人

志望理由	回答数	割合 回答数/138
やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから ※1	86	62%
給料が高いから	27	20%
就職に有利だから	26	19%
友人や家族に勧められて	47	34%
資格を持っていた方が将来的にも安心だから	65	47%
その他	20	14%

※1：「やりがいがある看護の仕事に魅力を感じたから」の理由についての自由記載から抜粋

- 人の命を預かるやりがいのある仕事
- 発展途上の国で働きたいから
- インターシップで看護師の仕事を体験し、やりがいがあると思った
- 母や姉が看護師だから（憧れる）
- 学校の実習で看護の仕事に興味を持ったから
- ドラマのコードブルーを見てやりがいがあると思った
- 自分自身が成長できる仕事

- 多くの人にかかわり、時には人を笑顔にすることができると思った
- 人の命をつなぎ、人生を見届けることができるから
- ふれあい看護体験を通じて、看護師は患者を笑顔にさせ、自分自身も成長できる職業だと感じたから
- 患者さんを一番近くで支えられるから
- 人を助ける仕事に就きたいと思ったから
- 人の役に立つ仕事に就きたいと考えていて、大変な仕事だと思うが人に感謝される仕事だと思ったから
- 安藤さんが言っていたように難しいこと、苦しいことを乗り越えた時の達成感がやりがいとなると思ったから
- 自分で行った患者さんへの行動で、患者さんが笑顔になり「ありがとう」といってくれた時が一番うれしいと思うから
- 患者さんや家族の方々の笑顔を見られるから
- 困っている人やサポートが必要な方がよりよい生活ができるようになるために努力しがいがあるから
- 患者さん、ひとりひとりと向き合い、その人に合った方法で治療やケアを行うところ
- 患者の回復を一緒に喜べるから
- 子どもからお年寄りまで幅広い年齢の人と出会って、その人たちの役に立てるから
- 産みたいと思うお母さんと生きたいと思う赤ちゃんの出会いに立ち会えるすばらしい仕事だと思うから

（3）プログラムについての評価

プログラムの「看護の講演」、「看護学校の学校紹介」の 2 項目について 4 段階評価を行った。

n＝203　単位：人

項目	評価基準	回答数	構成比
看護のリレートーク	良く理解できた	153	75%
	大体理解できた	38	19%
	あまり理解できなかった	0	0
	理解できなかった	0	0
	未回答	12	6%
学校紹介	良く理解できた	120	59%
	大体理解できた	50	25%
	あまり理解できなかった	3	1%
	理解できなかった	0	0
	未回答	30	15%

（4）看護のリレートークに対する感想

- あまり知らなかった保健師のお話が聞けてよかった
- 保健師の仕事を理解できた
- 仕事の内容だけでなく、県やその地域ならではの活動を知れてよかった
- 一番心に残ったのが「住民から感謝の言葉をもらえること」という言葉が印象に残った
- 自分のなりたいフライトナースの声を聞くことができて良い経験となった
- 興味のあるフライトナースの話が聞けてよかった、より魅力を感じた
- フライトナースになりたい、憧れる
- フライトナースの話が聞けて新鮮だった
- フライトナースについて、テレビで見ていたのとは異なり本当の現場はとても緊張感が

あると感じた
- 助産師のお話しが興味深かった、助産師になりたいと思った
- 助産師になりたいという気持ちがさらに確かなものになった
- 助産師はやっぱりいい仕事だと思った。赤ちゃんやお母さんのために頑張れて手助けができる助産師になりたい気持ちが大きくなりました
- いろんな職種や実際の体験談を聞くことできて勉強になった
- リレートークの方の中高校生のときの話も聞けたので参考になった
- 看護職に就くことの意識が高まった
- より看護師に興味が持てた
- 実際の体験を話されていたのでわかりやすかった
- 医療の現場で働いている方の生の声を聞くことができてためになった。今後、看護職を目指す上で、心に大切に閉まっておきたいと思った
- とてもよい話だった。将来看護師になりたいと思った
- 各方面からの医療の話しは、充実した講話だった。進路選択で迷っていた自分にとって、よい体験だった
- とてもわかりやすくて興味が持てた
- それぞれの仕事の内容ややりがいを短い時間だったが詳しく知ることができた
- やりがいを聞いていると、自分の将来が見えてきてワクワクしてきた
- 仕事のやりがいや達成感を聞くことができて良かった
- 看護の仕事の魅力を改めて感じました
- 詳しくわかりやすい説明で内容が充実していた。リレートークがとてもわかりやすくよかった（保護者）
- 子どもの興味のある分野の話で、気持ちも高まったようだ（保護者）
- 子どもの夢について具体的に理解しやすく、話題ができました（保護者）
- 保護者で参加しました。現場の様子がわかり、都農町役場の活動に興味を持ちました（保護者）
- 現場の実体験お話が聞けたので、息子にもイメージができたと思う。学生時代の話をしてもらえたので方向性もしっかり考える機会となったと思う（保護者）

（5）看護進路説明会に対する感想
- いろんな学校の特徴を知ることができた
- 学校の情報を直接聞くことができた
- 学校ごとの学校方針などがよくわかった
- 学校の選択肢が広がった
- 普段聞くことができない「看護専門学校」の話を聞くことができて良かった
- オープンスクールで詳しく知りたいと思った
- 自分の進路に大事な情報を得ることができた
- 学校の違いや特徴がよくわかった
- たくさんの学校のオープンキャンパスに行き、もっと知りたいと思った
- 大学についてイメージがわいてきたのでよかった
- それぞれの学校の魅力がよくわかった
- 学校説明では、看護師になるための手段が宮崎にもたくさんあることがわかり、自分の目指す学校についても多くの魅力を感じることができた
- 県内の様々な大学専門学校についての話があり、わかりやすく、是非オープンキャンパスに行きたいと思いました
- それぞれの特色やモットーがあるので詳しく知りたい。これを参考に進路を考えていきたい
- 各学校の的を絞った説明でよくわかった（教諭）

（6） 要望
- 学校ごとの個別の話しが聞ける場があるとよかった（教諭）

（7）ふれあい看護体験について（高校生のみ回答）

①ふれあい看護体験の認知度　　n＝145　単位：人

ふれあい看護体験を知っている	130
ふれあい看護体験を知らない	14
未回答	1

②ふれあい看護体験の参加の有無　n＝130　単位：人

参加したことがある	42
参加したことがない	88
再掲）今年参加する	56

8.　まとめ

看護進路相談会は、平成 6 年より始まり、今年で 25 年目を迎えた。3 年前から「看護の日」に合わせ 5 月に実施している。特に今年度からは、みやざきナース Today と看護進路説明会との合同開催とし、多くの県民が看護について知る機会となることを期待し実施した。会場も利便性のよい宮崎市民プラザ（オルブライトホール）をメイン会場とし、街頭 PR も行い看護の PR を行った。

開催案内は、市町村教育委員会に依頼し県内の中学校に案内を行った。その他に情報誌、新聞等にも掲載した。中学校は 15 校、高校は 25 校の参加があった。

参加者数は 328 人（30 年 337 人）と昨年とほぼ変わりなかったが、イベントに対する県外からの問合せもあり鹿児島からの参加もあった。中高校生以外では、小学生の参加や一般の参加もあった。

開催内容は、2 部構成として実施した。第 1 部では「看護のリレートーク」、第 2 部では「看護進路説明会」とし学校別紹介を行った。看護のリレートークでは、現役の保健師、助産師、看護師の仕事のやりがいや魅力について語った。会場からの質問もあり、アンケートの結果でも看護の仕事について理解が深まり、「保健師、助産師、看護師の仕事の違いがわかった」とする意見が聞かれた。また、将来を見据えた意見もあった。

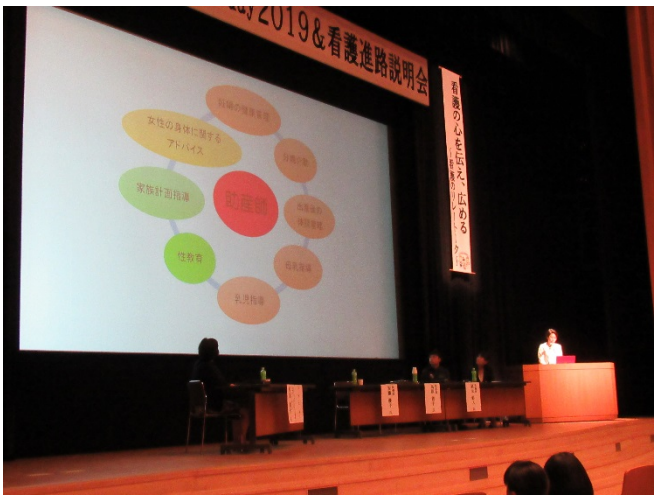
看護進路説明会は、「県内の看護師養成学校が一堂に会する機会を得ることができて学校選択の情報を得ることができた。」「オープンキャンパスに是非行きたい」などの意見があり、各学校の特徴がわかると好評であった。

その他にも、オルブライトホールのロビーでは、学校の資料配布、看護の活躍の紹介コーナーや災害支援ナースの紹介コーナーを設けた。興味を持った生徒たちが現役の看護職から直接、説明を聞いたりすることができていた。

看護進路相説明会は、これからも看護の日のイベントとともに看護の魅力を伝えるようなプログラムを行い、看護の進路選択の一助となるような情報提供を今後も行っていきたい。

オルブライトホールの様子

看護のリレートーク



保健師
安藤 優子 氏
助産師
馬原 敦子 氏
看護師
酒元 彰人 氏

看護進路説明会の様子

みやざきナースToday2019＆看護進路説明会
看護の心を伝え、広める
～看護のリレートーク～
社会医療法人 同心会
フィオーレKOGA看護専門学校

みやざきナースToday2019＆看護進路説明会
看護の心を伝え、広める
～看護のリレートーク～
小林看護医療専門学校

みやざきナースToday2019＆看護進路説明会
学校法人 順正学園
九州保健福祉大学総合医療専門学校
看護学科

みやざきナースToday2019＆看護進路説明会
看護の心を伝え、広める
～看護のリレートーク～
MMC
羽ばたけ 医療の世界へ
宮崎医療福祉専門学校 看護学科

みやざきナースToday2019＆看護進路説明会
看護の心を伝え、広める
～看護のリレートーク～
日南看護専門学校

オルブライトホールホワイエの展示
災害支援ナースのコーナー

オルブライトホールホワイエの展示
ふれあい看護体験写真展

街頭 PR 隊の出発式の様子